

あのね

2024
11

あのね
2024年 11月号
通巻386号
発行 福音館書店 宣伝課



今月の新刊『パン パン ジェントルパン』は、声に出して読むと楽しいリズムカルな言葉とポップな絵が魅力の絵本です。フランスパンの紳士、ジェントルパンが繰り広げる愉快でおかしなお話の作者は、今作で初めて絵本を手掛けた、増田和子さん。刊行にあたり、エッセイを寄せていただきました。

ダジャレ人間の血筋

増田和子

みなさんお気づきとは思いますが、「ジェントルパン」はダジャレです。フランスパンが主人公ということで、ジェントルマンのマンをパンに変えた、という本当にしようもないダジャレです。

今回、このエッセイを書いていて、自分が、しようもないくだらない話好きの人間であることに改めて気がつきました。そこで、なぜこんな人間になったのか、思い当たるフシを書いてみることにしました。

私の母は、頭頂部の薄毛をカバーするために、ウィッグを愛用しております。ウィッグをはずした時は、かわいい白いアルパカのぬいぐるみの頭に、そのウィッグをかぶせています。「かわいいでしょう？」と言って、カッラをかぶせられたアルパカを、カッラごと撫でているのを見たとき、私のしようもないこと好きは、母親の

血筋から来ているのかもしれないと私はピンとききました。

父が体調を崩し、自宅で療養していたとき、父の右足の裏の皮が、水虫のせいでひどくむけておりました。私は気の毒に思い、アロエクリームを自分の右手にベトリつけて、父の足にベタベタ塗りつけてあげました。そのあと父はすぐ入院することになりました。

それから一ヶ月ほど経ったある日、突如として私の右手の皮がむけはじめ、どうやらあのとき、父の水虫がうつっていたらしいことをさとりました。それと同時に、少し嫌な予感がしました。その二日後に父は息を引き取りました。「お父さん、水虫になって最後の挨拶に来たな」

と私は思いました。夢枕に立つとかではなく、水虫で知らせるあたり、くだらない話好きは父親の血筋のせいでもありそうだと私はピンとききました。

ところで、ジェントルパンのおはなしは、いつどうやってできたのか思い出せません。数年前に描いたラフスケッチが企画会議を通ったという知らせを、担当編集さんから受け取ったとき、数年ぶりにラフスケッチを見ましたが、コレは本当に自分が描いたのか？と怪しんだくらいです。でも、おはなしは、ジェントルパンが散歩していて、ハプニングが起こって、間違えて、焦って、助けてもらってなんとかあった。パンザイ！という内容で、まるでいつもの自分のことみたいだったので、やっぱりコレはしようもないくだらない話好きの自分が

描いたことに間違いなさそうでした。

昨今ではダジャレも、ダジャハラだ！とか言われかねない世の中ですが、私のようないくでもないくだらない話好きのダジャレ人間は、まだまだたくさんおられると思います。その隠れダジャレ人間の方々とは、ずつとずつと前の血筋をたどれば、同じ先祖だったりするかもしれません。

『パンパンジェントルパン』は、そんな私がつくった絵本なのだから、子どもも大人も無責任に、「パンパンパーン」ジェントルパーン」と、声に出して元気よく楽しんでもらえたら、幸いです。



ますだかずこ●1976年、神奈川県横須賀市生まれ。朝日カルチャーセンターの荒井良二さんの絵本講座（ぼくの絵本塾）で学ぶ。近年は、ネイティブアメリカンのカチナドールに影響を受け、布で人形を制作し発表している。絵本は、今作が初めて。



『パン パン ジェントルパン』

増田和子 作
定価1,320円(税込)
24×22cm／24ページ
3才から

内容紹介

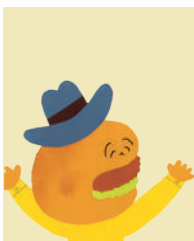


ジェントルパンは、フランスパンの紳士です。ある日、ジェントルパンが散歩をしていると、曲がりかどの向こうからドン・チョココロネがやってきました。ふたりはゴッちゃん！とぶつかって、ふたりとも頭がとれてしまいました。どうにか頭をくっつけたふたりは、ちがう方向へ歩いていきますが、なんとジェントルパンの頭にドン・チョココロネの頭が、ドン・チョココロネの頭にジェントルパンの頭がくっついていました。ふたりの頭はもとに戻るのでしょうか。一度読んだらクセになるリズムカルな文章が魅力の絵本です。



こんな読み方も楽しいよ！

『パン パン ジェントルパン』
動画公開中





眠らないコッコさんとお月さまの対話

おやすみなさい コッコさん
片山健 作・絵
定価990円(税込) / 24ページ
空の雲も池の水も鳥も、みんな眠ったのに、まだ眠らない女の子が一人。コッコさんです。月が静かに語りかけます。

2才から



だれかがきたよ
得田之久 文 / 垂石眞子 絵
定価990円(税込) / 24ページ
夜、「ピンポン」と玄関のチャイムが鳴ってドアを開けると、あひるさんが「いっしょに おふろにはいろう」と立っています。

2才から



みんなに、おやすみなさいを言に行こう



よるはおやすみ
はっとりさちえ 作
定価990円(税込) / 32ページ
寝る前に「おやすみ」を言おうと外に飛び出した女の子。大勢の友だちと、あらゆるものに「おやすみ」を言って夜の世界を駆け抜けます。

5・6才から



ロシアの傑作アニメーションが美しい絵本に

きりのなかのはりねずみ
ノルシュテインとコスロフ 作
ヤールブソフ 絵 / こじまひろこ 訳
定価1,430円(税込) / 40ページ
はりねずみが、こぐまの家に遊びに行く途中、白い馬を見つけて、霧のなかに入っていくと…。ロシアの傑作アニメの絵本化。

5・6才から



真夜中のトイレには、楽しい友だちがいた！

まよなかのトイレ
まるやまあやこ さく
定価1,100円(税込) / 28ページ
夜中、ひろこは勇気をだして一人でトイレに行きました。すると、小さな動物たちがあらわれて、ひろこの手助けをしてくれました。

4才から



きみの家にもいるかもしれない？

おいしいじいさん
尾崎玄一郎、尾崎由紀奈 作
定価990円(税込) / 32ページ
ある家のおいれに、おいしいじいさんがこっそり住んでいます。おいしいじいさんは人間が眠る夜になると起きだし遊びはじめます。

4才から



少年たちは夜を冒険した。そして……

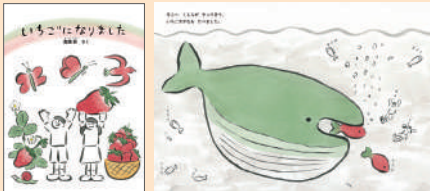


5・6才から

つきよのアイスホッケー
ポール・ハーブリッジ 文
マット・ジェームス 絵
むらおかみえ 訳
定価1,980円(税込) / 40ページ
凍ったビーバー池は、少年たちにとって最高の舞台。自然と共に暮らすカナダの作家が描く、極寒の地の少年たちの夜の冒険の絵本。

11月の新刊

食べて食べられて、みーないちごになりました



いちごになりました
鬼頭折 作 / 定価1,100円(税込) / 32ページ
いちごの花が咲きました。その蜜を吸ったちょうちょはいちごちょうちょに、それを食べたさかなはいちごさかなになりました……？

4才から

おせち料理に込められた願いを伝える美しい絵本



おせち
内田有美 文・絵 / 満留邦子 料理 / 三浦康子 監修
定価1,100円(税込) / 32ページ
日本の伝統食であるおせち料理を紹介しながら、そこに込められた願いをリズムカルなことばで伝える美しい絵本。

4才から

光合成をやめた？ 菌類に寄生する奇妙な植物たち



「植物」をやめた植物たち
末次健司 文・写真 / 定価1,430円(税込) / 40ページ
植物なのに光合成をやめちゃった？ 菌類を「食べて」生活する、奇妙な植物たち。彼らのちょっとずい生き方を紹介します。

小学
中学
年から

福音館の月刊誌 12月号のご紹介

ピックアップ

母の友

おとなの方に
定価700円(税込) / 100ページ



特集『母』のこれから
「母の友」は2025年3月号をもって休刊することになりました。この号から最後の号まで4号連続で「さよなら特集」をお届けします。過去72年間の「母の友」の記事を振り返りながら、「母」の今と未来を考えます。



2～4才向き
こどものとも 年少版 定価460円(税込) / 24ページ

だいくのまっさん
尾崎玄一郎、尾崎由紀奈 作
大工のまっさんとなかまたち。えっさささとたてものを作ります。



4～5才向き
こどものとも 年中向き 定価460円(税込) / 32ページ

トランプくま
たるいしまこ 作
トランプで遊びたいはるちゃんを、くまのこが訪ねてきます。



5～6才向き
こどものとも 定価460円(税込) / 32ページ

トムとモモ
みやこしあきこ 作
新しい友だちができる喜びを、静かに、あたたかく描いた物語。



3～4～5才向き
ちいさなかがくのとも 定価460円(税込) / 24ページ

おすすめ! ダンボールごう
ひがしちから 作
ダンボール箱が乗り物に变身。ダンボール号で、さあ出発!



5～6才向き
かがくのとも 定価460円(税込) / 28ページ

あんしゅたんけん
松岡達英 作
温室には熱帯のふしぎな植物がたくさん! さあ探検しよう。



小学3年生から
たくさんのふしぎ 定価810円(税込) / 40ページ

日本にいたゾウ
大島英太郎 文・絵
遠いむかしの日本には、野生のゾウがすんでいました。